四八、ことばグルメ

わたしは美味しいものが大好きです。母が料理の先生だったので、毎日美味しいものを食べる幸せに恵まれてきました。そのおかげか、知らない街を歩いていても、美味しい食べ物屋さんを発見する能力は高い！（この能力は文学散歩で発揮されています）

同じように「たましいの食べ物」である書物をたくさん読んできたおかげで、その本の一番美味しいところを嗅ぎ分ける能力が高い！自称「ことばグルメ」。

今年没後五十年の谷崎潤一郎の世界もまた美味しいもの、美しいものに満ちています。三島由紀夫は谷崎文学を「フランス料理のソース」のようだと評しました。

十月四日（日）月の舟文学カフェでは、谷崎潤一郎の小説『細雪』を読みます。戦時中に書かれたにもかかわらず、日本と西洋の文化が混淆した彩り豊かな文学世界が

きみことワインを 2015

広がります。今回は、着物に注目して、『細雪』の鮮やかな小説世界に迫ります。月の舟着付教室講師・福島美紀子さんを中心に、鶴子、幸子、雪子、妙子（蒔岡家四姉妹）の着物を想像で再現します。関西出身の小林潤司先生のトーク

で彩りに華を添えていただき、とても刺激的なイベントです。ぜひご参加ください。

十月は、食欲・読書の秋にふさわしく、美味しい講座がいっぱい。小林潤司イクメン教授のシェイクスピア講座第四集が始まります。月下美人クラスで、井原慶一郎先生の『新しい文学のために』（大江健三郎）の講義。井原先生は、このたびディケンズ『クリスマス・キャロル』を完訳されました（凄い！）。フランス帰りです

ますます絶対調の飯田伸二先生の『ドン・ジュアン』、ネイティブアメリカンフルートの音色が素晴らしいデヴァ・ヨーコさんによる「や

すらぎのじかん」コンサート。火曜日の新規瞑想クラスではダイナミック瞑想に挑戦。みたけきみこの「水原秋桜子」「和泉式部日記」「枕草子」「源氏物語」も絶好調。「月の舟」のどの講座も先生方のご尽力で、受講生がどんどん増え、笑顔が溢れています。

そして十月二十五日、三嶽豊理事長の還暦を記念して、奥村美枝プロデュース「月の舟のおもちや箱」開催。「プリンセス・プリンセス」と題して、くずし字の嶋田仁美先生、塗木郁子さんたちが力を合わせて、楽しいイベントを繰り広げてくださいます。もちろんプリンセスたちも大歓迎。でも、白馬に乗ってこないでね（笑）

とにかく「月の舟」へ行けば、楽しいことがいっぱい。心地よい季節、月の舟で「たましいの食べ物」をたくさん食べて「ことばグルメ」になりましょう。ことばグルメなら肥満・糖尿病の心配はありません。（みたけきみこ）